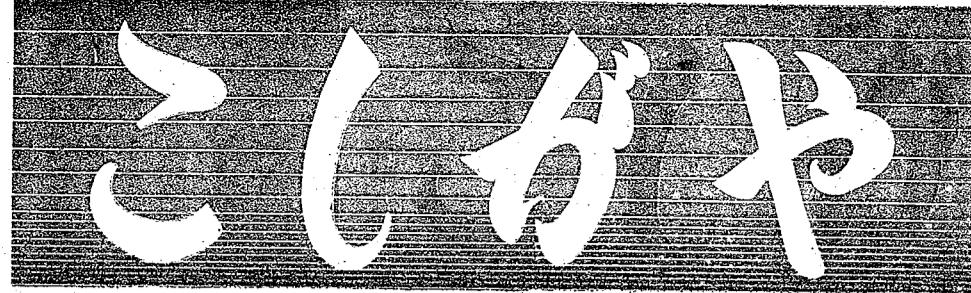


広報



5月1日

昭和57年(1982) No.664

編集

越谷市役所企画部広報課

1日・15日  
毎月2回発行



## 川面(かわも)に揺れる 陽光に包まれて



子どもたちにとってすばらしい環境ですね、と大村さん

があり、日曜日など一家でよく散歩などで

いるのかなと思ふ」というふうに語る

。この姿をみて、「こんな素晴らしい環境の中でもすこしいる子供たちにはなく、幸せなんだよ」と思ふのです。

また、私の近いところは千間台第4人園があり、日曜日など一家でよく散歩などでいるのかなと思ふ」というふうに語る。

「こうした環境の中で、私が思うことは、残されている自然を守ってほしい」とのことです。親戚が都内に多い関係で、子どもたちが休みになると天王寺へやって来ます。そして、セミやクロカブタを捕まえたり、近くの用水でザリガニと一緒に熱中しています。時には木葉をしてひや汗をかかせることもあります。

しかし、伸び伸び遊んでいる子どもたちの姿をみて、「こんな素晴らしい環境の中でもすこしいる子供たちにはなく、幸せなんだよ」と思ふのです。

葛西用水路に水が入り、土手の5万球のチューリップが咲き乱れ、水郷越谷にふさわしい景観となっています。暖かい日差しに誘われて、体操クラブのママさんたちも体育馆を飛びだして、葛西用水路土手をランニングにやってきました。葛西用水路には先月22日に埼玉県東部漁業組合がヘラブナ800匹を放流し、太公望の姿も多数みられるようになりました。街はすっかり初夏の装いに満ちています。

多くの友だちに囲まれて  
楽しい毎日

**越谷とわたし**

93 ◇◇

「越谷とわたし」は、あなたのコーナーです。みなさんの投稿をお待ちしています。字数は900字程度です。  
広報課

恩間七九〇の六  
おむり  
大村 慶一子 (34歳)

私の家庭は、夫と私と男一女の5人家族です。ちょうど8年前に夫の仕事の関係で浦生東町に転居したのが私たち越谷市とのおつき合いの始まりでした。3年ほど前に現在の園間に移りましたが、この8年間における市の発展には目を見えてかわっていくました。土地整理整備事業・千間台小学校の開校・南陵橋の開通など住環境整備が着々と進んでいます。

こうした環境の変化の中で、私が思うことは、残されている自然を守ってほしいことだ。親戚が都内に多い関係で、子どもたちが休みになると天王寺へやって来ます。そして、セミやクロカブタを捕まえたり、近くの用水でザリガニと一緒に熱中しています。時には木葉をしてひや汗をかかせることもあります。

たとえば、映画・美術展・絵画展・書道展などの催し物をどんどん開いてPRしていくば、市民にとって身近なものになると思います。そしてその積み重ねによって、身近な誰もが参加できるものへと発展していくと考えます。

さて、私は2年前に市政モニターを経験し、越谷の街づくりに注目している一人です。都心からこんなに近いにも拘らず、自然環境が残されています。今は自然に親しみ、愛着をもつ。この愛着を自慢できます。最近では、道路のお地蔵さんに目が止まるようになります。

さて、私は2年前に市政モニターを経験し、越谷の街づくりに注目している一人です。都心からこんなに近いにも拘らず、自然環境が残されています。今は自然に親しみ、愛着をもつ。この愛着を自慢できます。最近では、道路のお地蔵さんに目が止まるようになります。

市税の納め忘れはありませんか。まだ納めていない市税がありましたらお近くの金融機関または市役所主税課へ納入してください。









